



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月25日

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市平字尼町60番地の1
氏 名 堀 江 工 業 株 式 会 社
代表取締役社長 長谷川 浩一
(法人にあつては、名称及び代表の氏名)
電話番号 0246-23-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	夏井川筋河川災害復旧助成工事他59件市内各現場
事業場の所在地	いわき市平鯨岡地内他市内
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	完成工事高 56億円 (前年度実績)
③従業員数	95名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事施工により発生した産業廃棄物(全種類)は、工事毎に委託契約し、中間処理・最終処分業者に処理委託をする。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 その1

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	排出量	2,331.89t	173.54t
	(これまでに実施した取組) ・各工事現場毎、分別処理搬出の実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	排出量	230.00t	164.90t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して、分別搬出に努める。		

産業廃棄物の分類に関する事項

①現状	(分類している産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・廃棄物の種類毎に収集かごを設置する。 ・分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・上記による分別を継続実施する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 その2

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	14. 60t	421. 22t
	(これまでに実施した取組) ・各工事現場毎、分別処理搬出の実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	排出量	13. 87t	400. 16t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して、分別搬出に努める。		

産業廃棄物の分類に関する事項			
①現状	(分類している産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・廃棄物の種類毎に収集かごを設置する。 ・分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管する。		
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・上記による分別を継続実施する。	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 その3

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	107.16t	68.00t
	(これまでに実施した取組) ・各工事現場毎、分別処理搬出の実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	排出量	101.80t	64.60t
	(今後実施する予定の取組) ・継続して、分別搬出に努める。		

産業廃棄物の分類に関する事項	
①現状	(分類している産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・廃棄物の種類毎に収集かごを設置する。 ・分別を実施するとともに、他の廃棄物が混入しないように保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・上記による分別を継続実施する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 その4

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	9,944.46t	
	(これまでに実施した取組)		
	・各工事現場毎、分別処理搬出の実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	8,452.79t	
	(今後実施する予定の取組)		
	・継続して、適正処理に努める。		

産業廃棄物の分類に関する事項

①現状	(分類している産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・分別収集搬出による処理をする。 ・コンクリート、アスファルト以外の混入物の細分化をする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分類に関する取組) ・上記による分別を継続実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
特に実施していない		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
現状、計画の予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
該当なし		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		
現状、計画の予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	現状、計画の予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 その1

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全処理委託量	2,331.89 t	173.54 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,331.89 t	0 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	173.54 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を委託できる業者を選択し書面による契約を実施。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 その2

①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	14. 60 t	421. 22t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	328. 68t
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	14. 60t	92. 54t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を委託できる業者を選択し書面による契約を実施。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 その3

①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	107. 16 t	68. 00t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	107. 16 t	68. 00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	・産業廃棄物を委託できる業者を選択し書面による契約を実施する。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 その4

①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	9, 944. 46t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	953. 42 t	
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	8, 991. 04t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物を委託できる業者を選択し書面による契約を実施。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 その5

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物を委託できる業者を選択し書面による契約を実施。		

(第5面)その1

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	燃え殻	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	230.00 t	164.90 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	230.00 t	11.54 t
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	0 t	153.36 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 ・委託先処理業者の現地確認の実施。		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず
	全 処 理 委 託 量	13.87 t	400.16 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.97 t	368.15 t
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	12.90 t	32.01 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 ・委託先処理業者の現地確認の実施。		
	※事務処理欄		

(第5面)その2

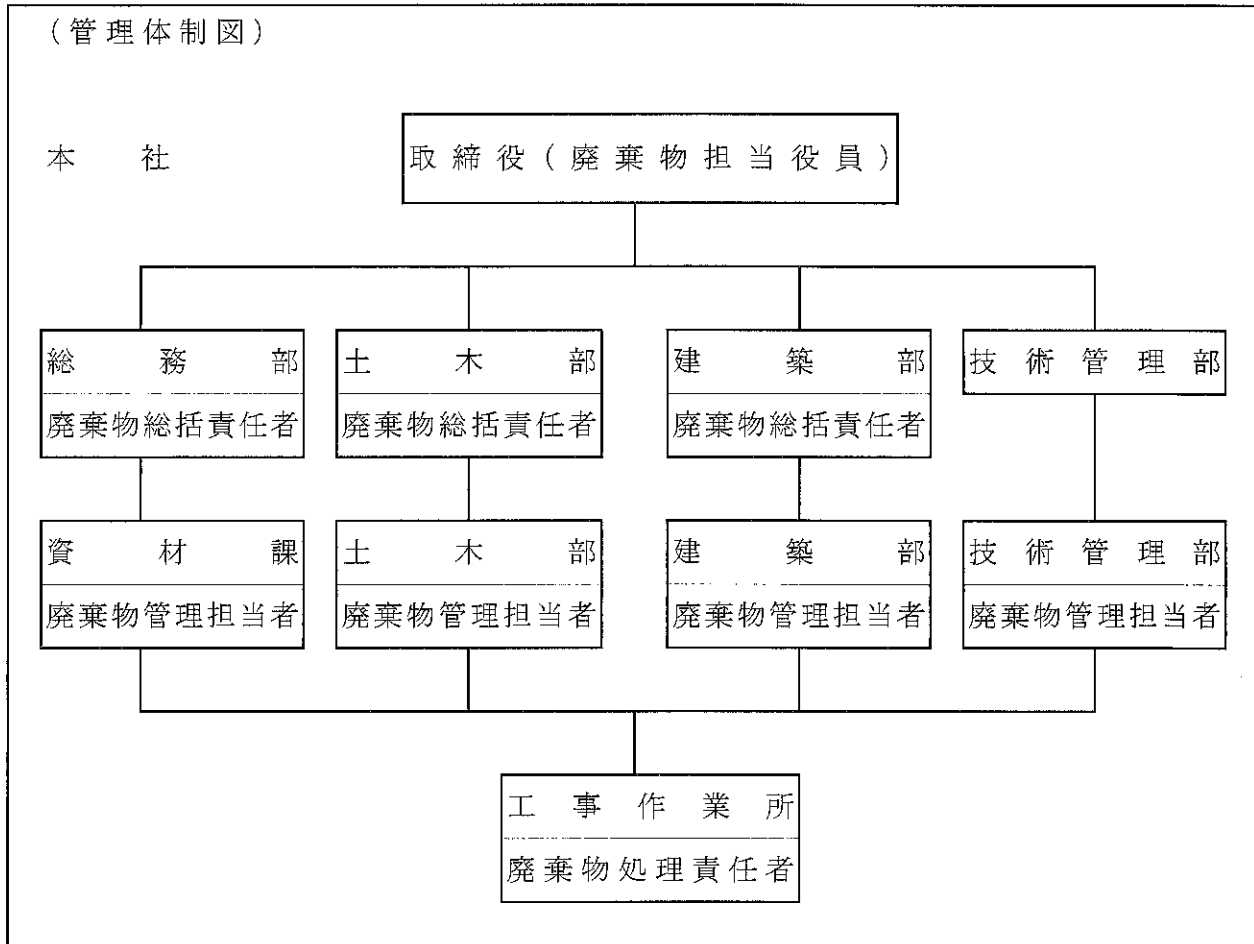
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず等
	全 処 理 委 託 量	101.80t	64.60 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	8.15 t	5.17 t
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	93.65t	59.43 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 ・委託先処理業者の現地確認の実施。		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	8,452.79 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,267.91 t	
	再 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	7,184.88 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・可能な限り優良認定処理業者から委託先を選定する。 ・委託先処理業者の現地確認の実施。		
	※事務処理欄		

(別紙)

(第2面) 産業廃棄物の処理に係る管理管理体制に関する事項

(管理体制図)



役 割	職 務 内 容
廃 棄 物 総 括 責 任 者	・産業廃棄物管理組織の策定、改廃 ・産業廃棄物処理基本方針の策定 ・産業廃棄物処理に関する各種事項の決定、承諾 ・その他関係する事項
廃 棄 物 管 理 担 当 者	・産業廃棄物処理計画の作成 ・産業廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・産業廃棄物の発生量の把握と処理実績記録の保存 ・産業廃棄物処理業者の選択、委託契約の締結 ・監督官庁への各種報告 ・社員、下請事業者に対する教育、指導、啓発 ・その他関係する事項

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。